

寿 企 画 号
令和7年3月25日

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

共同代表 南 波 久 様

共同代表 三 木 信 香 様

寿都町長 片 岡 春 雄



公開質問状に対する回答について

令和7年3月18日付で貴会から提出のありました公開質問状に関し、下記のとおり回答いたします。

記

シンポジウムの開催趣旨は、町民の皆様へ専門家から様々な視点からの見解や情報を得ていただき、高レベル放射性廃棄物の最終処分問題についてそれぞれ自身の考えを持っていただくことを目的としております。第2回シンポジウムにご登壇いただいたパネリストの皆様は、第1回の開催内容を踏まえ、運営に携わっていただいたファシリテータを含めた関係者と偏りが無いこと等を協議したうえで選任いたしました。

地層処分の安全性に関する科学的知見や我が国を取り巻くエネルギー情勢に関して多様な見解があり、第1回シンポジウム冒頭の挨拶でも述べたとおり、いずれも正否を結論づけるものではないと承知しており、ご登壇いただいた皆様の提言に対して見解を述べることはできません。国民一人ひとりが自分事として考えることが重要であると思っており、シンポジウムで得ていただいた情報を基に、皆様それぞれが見解を見出していただけたら幸いに存じております。

なお、ご指摘のありましたホームページ掲載のQ&A 12ページの伊藤聡子様からの回答に係るURLについて、担当者の記入誤りにより正しく掲載されていなかったことを確認し、修正をいたしました。誤った情報提供をしてしまいましたことに対し、深くお詫び申し上げます。

【修正後URL (https://www.occto.or.jp/iinkai/shorai_jukyu/2023/files/shorai_jukyu_04_02_02.pdf)】

幹部職員の居眠りに関するご指摘について、そういった事実は確認できておりませんので、回答することはできません。

以上